



# 華麗な花びら「かがり弁」の輪ぎく新品種を開発

—ブライダル用など、きくの新たな需要開拓を目指します—

## 開発の背景・ニーズ

愛知県は全国一の輪ぎく生産県です。近年は葬儀形態の変化により、輪ぎくの需要は減少傾向にあります。そこで、祝い事やフラワーアレンジメントなど新たな需要の開拓を目指した、新奇性の高い品種の開発に取り組みました。

## 成果の内容

イオンビームを照射することにより、輪ぎくの花びらの色や形を改良しました。その結果、以下の特徴を持った品種を育成しました。

- 花びらの先に複数の突起がある「かがり弁」をもつ華やかなイメージの輪ぎくです。
  - 白色、赤紫色、黄色の3色揃っています。
  - 花びらの形や色が美しくなる12月から3月までの出荷が適しています。
  - 日持ちは従来の輪ぎく品種と同程度で、冬季は2週間以上の観賞が可能です。
- 本品種は平成29年11月に種苗法に基づく品種登録出願を行いました。



白色品種



赤紫色品種



黄色品種



花びらの形の比較

輪ぎく品種「神馬」(左端)と開発した3品種



花きイベントにおける品種PR

## 愛知県農業への貢献

輪ぎくの新たな需要を開拓し、産地の活性化への寄与が期待できます。

【本品種は、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と共同で開発しました】